



矢板市長
遠藤 忠

新年のびあつらい

明けましておめでとうございます。
皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、シャープ(株)栃木工場の規模縮小や、放射性物質汚染指定廃棄物最終処分場の県内候補地に、矢板市塩田字大石久保の国有林野が選定されるなど、本市にとって重大な出来事がありました。

シャープ(株)栃木工場の問題については、市内の経済や雇用に大きな影響をおよぼすため、市役所内に連絡会議を設置し情報の共有化を図るほか、離職者や関連中小企業からの相談に対応する特別相談窓口を設けています。また、市内でシャープ製家電製品を購入された方へ助成金を交付し、シャープの経営再建を支援するとともに市内の経済の活性化を図っています。

指定廃棄物最終処分場の問題については、環境省の極秘のうち調査をして突如知らしめる手法、基礎自治体を全く無



矢板市議会議長
守田 浩樹

年頭にあたって

明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、矢板市議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政並びに市議会の活動に対し、皆さまの温かいご理解と力強いご支援により、円滑な議会運営ができましたことに心から感謝し、改めて厚くお礼申し上げます。

一方、東日本大震災から2年近く経ちますが、被災地の災害復旧は思うように進まず、福島第一原発事故による放射能汚染被災地である本市においても、除染対応や風評被害などに苦しむ中、さらに矢板市塩田字大石久保の国有林野が唐突に放射性物質汚染指定廃棄物最終処分場候補地とされるという深刻な問題に見舞われました。皆さまも常に不安な日々を送られたことをご推察申し上げます。

視したやり方、そして選定方法や安全性の問題から、断じて受け入れることはできません。私も、今を生きる矢板市民として、私たちが直面する課題は私たちの世代で解決し、後世に禍根を残してはなりません。今こそ、これまで培ってきた「市民力」を発揮して、白紙撤回を求めてまいります。

また、本市では市政の持続的発展を図るため、「子育て環境日本一」を目指しています。そのために、教育・福祉・医療をはじめ、生活の利便性や働く場所の確保など、子育て環境の充実に向けて様々な施策を展開しています。県内で初めて、子ども医療費助成制度の助成対象年齢を18歳まで拡大したほか、子育て世代が市内へ定住をしやすいように、暮らしのびのび定住促進補助金を交付するなど、矢板で子どもを産み、子育てをしようと思っただけのような、まちづくりを進めています。

雄大な高原山に抱かれて、豊かな自然の恵みを日々の暮らしに感じることができるよう、矢板市。この自然を守り、未来へ引き継いでいくのは私たちの役目です。この矢板の良さを活かして、すべての市民が安全・安心に、未来に夢と希望がもてる、市民が「いきいき」と輝くまちづくりを進めてまいります。

結びに、平成25年が明るく希望に満ちあふれた年となりますことを念願いたしますとともに、皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

日本経済は、依然として低迷しており、先行き不安が払拭できない状況にあります。生産活動の回復に伴い、景気が持ち直していくことが期待されておりますが、為替変動、電力料金値上げなどの影響により、厳しい状況が続いております。このような中、矢板市におきましても、基幹財源である市税収入が、景気低迷や震災などの影響により減少する一方、少子高齢化対策をはじめ、景気浮揚策、雇用対策、行財政の改革、教育、福祉医療の改革、生活関連施設整備など、様々な課題に直面しております。これらの課題を解消していくためには、まず財政基盤の安定を図り、諸施策を講じていかなければなりません。

地方議会の果たすべき役割は、益々重要になり、私たち市議会議員は、活発な議論を通じて切磋琢磨し、開かれた議会運営を心がけ、市議会としての責務を着実に果たして参りたいと存じます。

第2次21世紀矢板市総合計画の目標達成に向けて、市議会といたしましても、果たすべき役割と責任を自覚し、より豊かな住みよいまちづくりを目指して、市民の皆さまと手を携えながらご期待に応えるよう一層の努力を重ねて参る所存でございます。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年が、笑顔あふれ、活力みなぎる年となりますことをご祈念いたしますとともに、皆さまの更なるご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。